

北京+25について

大崎麻子

Gender Action Platform理事

2019年4月25日

2015年～2019年の評価

国際協調

- ✓ SDGs国内推進本部/実施方針「ジェンダー主流化」(2016)
- ✓ 女性・平和・安全保障(WPS)に関する行動計画の策定(2015, 2019)と評価委員会/報告書(2017～)
- ✓ WAW!の「進化」(アジェンダ設定、登壇者のジェンダー・バランス等)

国内施策

- ✓ 女性活躍推進法(環境整備、「データ開示」)(2016)
- ✓ 刑法性犯罪規定の改正(2017)
- ✓ 無償ケア労働の再分配:長時間労働の是正/働き方改革(2018～)
- ✓ 政治分野における男女共同参画推進法 (2018)(統一地方選での報道↑)

現在の課題

国際合意事項の確実な履行

- ✓ SDGs (2016)
 - ✓ G7タオルミーナサミット「ジェンダーに配慮した経済環境に向けたロードマップ」(2017)
 - ✓ G7シャルルボワサミット「首脳宣言」他 (2018)
 - ✓ G20アルゼンチンサミット「首脳宣言」(2018)
- (ILO「仕事の世界における男女に対する暴力とハラスメントに関する条約」2019 批准すべし)

国際動向

- ✓ ESG投資
- ✓ ジェンダー投資 (Bloombergジェンダー平等指数、Women's Empowerment Principles/WEPs)

共通概念は、「ジェンダー平等」「女性のエンパワーメント(人権)」
「ジェンダー平等」は、「女性活躍の前提条件」という理解

今後取り組むべき課題

1. 「女性活躍」と「男女共同参画」の関係性の整理（時代は、「ジェンダー平等」では？）
2. 「ジェンダー主流化」を実行するための体制強化・キャパビル・資源配分（特に、男女別データ、ジェンダー分析）

地方創生：関連方針・施策に「男女共同参画」

ユース：若年層（女性・男性・多様な性自認）の意思決定過程への主流化、取組への支援強化

イシュー：「暴力の根絶」「性差別の撤廃」「固定的性別役割分担の解消」→法整備、政策・施策、事業